





## 第5章. 文化財(日野の“たから”)の保存・活用の将来像

### 1. 文化財の保存・活用の将来像

当町は、古来、綿向山<sup>わたむきやま</sup>をはじめとする鈴鹿<sup>すずか</sup>の山、山から流れ出る幾筋もの川、川が作り出した谷筋に広がる平地を舞台に、豊かな歴史文化<sup>はぶく</sup>を育んできました。

また、本計画に際し実施した文化財に関するアンケート調査やワークショップの結果、多くの町民が、地域に伝わる文化財を、「日野を日野たらしめている」まちの“たから”ととらえ、大切に思っていることがわかりました。

これら先人が伝えてくれた文化財を保存・活用していくことは、「日野町町民憲章」<sup>うた</sup>に謳われている「教養を高め文化の発展につとめましょう」、「よい伝統を守り進取の気象を養いましょう」という理念、ならびに当町の第6次総合計画が掲げる将来像「時代の変化に対応しだれもが輝き ともに創るまち“日野”」の実現につながります。

そして、文化財の保存・活用によるまちづくりの取組を続けていくことは、当町に生まれ育った人はもとより、日野にルーツをもつ人、移住者、来訪者をはじめ当町にかかわりをもつ人すべてにとっての居場所＝“ふるさと日野”を持続発展させることにつながるものと考えます。

以上をふまえ、本計画における将来像を次の通り定めます。

**日野を日野たらしめている歴史文化を  
ともに 守り伝え、活かし、未来へつなぐまち “ふるさと日野”**



日野町の眺望

## 2. 文化財の保存・活用の基本目標と方向性

当町の歴史文化の特性、文化財の保存・活用に関する現状をふまえ、上記の将来像を実現するため、3つの基本目標と取組のための7つの方向性を設定します。

### 基本目標 1 文化財を「ともに守り伝える」

日野の“たから”である文化財の調査・研究を継続的に実施するとともに、保存・管理に努め、よい伝統を守り未来に伝えます。

方向性 1:【知る】文化財の調査・研究の推進

方向性 2:【守る】文化財の保存・管理・継承

方向性 3:【備える】文化財の防災・防犯の推進

### 基本目標2 文化財をまちづくりに「ともに活かす」

日野の“たから”である文化財の価値や魅力を町内外に発信するとともに、まちづくり活動や観光に活かし、“ふるさと日野”の再発見と地域の活性化につなげます。

方向性 4:【伝える】文化財の価値や魅力の発信と共有

方向性 5:【活かす】文化財を活かしたにぎわい創出

### 基本目標3 文化財とまちを支える人を「ともに育む」

学校・地域におけるふるさと学習を通じて文化財とまちを支える人材を育成するとともに、当町にかかわりをもつ多様な主体による文化財を活かしたまちづくりに取り組み、文化の発展に努めます。

方向性 6:【育む】文化財を支える人材育成

方向性 7:【整える】多様な主体がかかわる推進体制の構築